

ごみの減量化と分別を

6月9日、エコ活動上益城協議会（山口大祐会長）が御船甲佐クリーンセンターを視察しました。同協議会は、地球温暖化防止を目的に、平成23年3月に発足。視察では、ごみの現状などの説明を受けた後、施設内を見学しました。事務局長の松本智子さん（小坂）は「協議会では、ごみゼロ運動を推進している。一人一人が、ごみの減量や分別、再利用を心がけてもらえるよう、様々なイベントで環境問題について普及活動を行っていききたい」と話しました。



職員に説明を受ける会員たち



将棋を楽しむ会員たち

子どもから大人まで楽しめる将棋

毎月、将棋を楽しんでいる御船将棋愛好会は、平成20年に発足後、約10人で活動しています。駄本会長は「将棋をすることで、脳を活性化させ、心身の健康維持と増進につながっている。今後は、子どもから大人まで楽しんでもらえるよう将棋を普及させていきたい」と話しました。同愛好会では、毎月第2土曜日の10時から「眺世庵」で将棋を楽しんでいます。詳しくは事務局までお問い合わせください。

☎御船将棋愛好会事務局（駄本） ☎281-6030

ホタル舞う水越

6月14日、ホタルを見る会が行われました。公民館水越分館（岩崎泰三分館長）が主催して、今年で21回目。祭りの会場となった、旧水越小学校体育館では、水越風神太鼓や滝尾小学校5年生によるソーラン節などが披露されました。辺りが暗くなる20時頃になると、参加者は水越川に移動し、川周辺を舞うホタルを約600人が見学しました。

また、先月開所した水越活性化協議会の食品加工所で作られた加工品や、地元野菜の販売なども行われました。



水越風神太鼓の様子



ロールプレイの様子

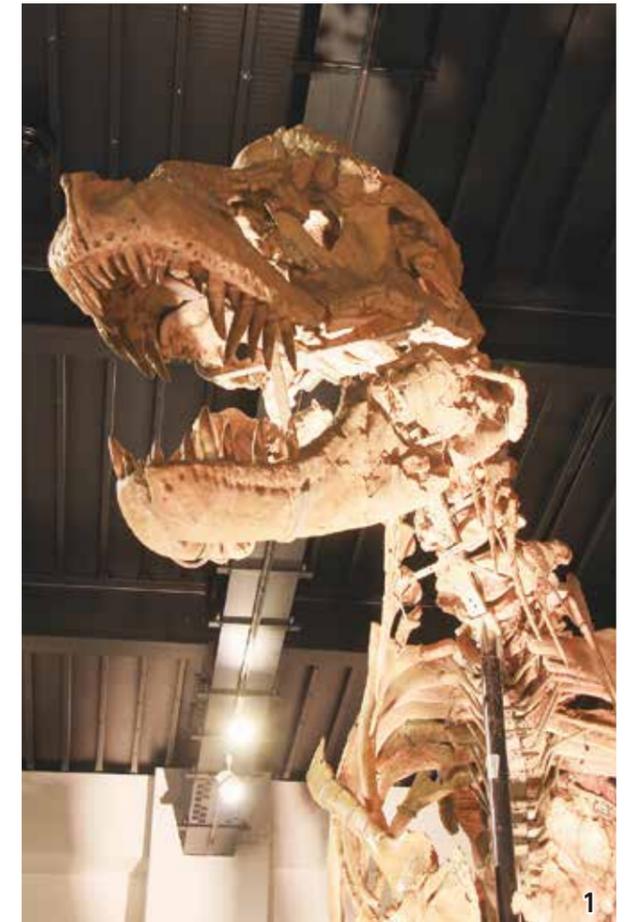
不審者に声をかけられたら

6月16日、小坂小学校（吉見和洋校長、172人）で、不審者避難訓練が行われました。訓練は、同小学校評議員の木村元一さんと交通安全協会の上杉彦士さんの協力で、授業中に不審者が校内に侵入したという想定で行われました。また、体育館での訓練では、学校の外で不審者から声をかけられた時の対応についてロールプレイを行い、児童たちは真剣に取り組んでいました。もし、知らない人に声をかけられたら、①ついて「いか」ない、②「の」らない、③「お」おごえをだす、④「す」ぐにげる、⑤「し」らせる、「いかのおすし」を心がけましょう。

恐竜博物館特別展「モンゴル ゴビ砂漠の恐竜たち」始まる 新館オープン2カ月で来館者5万人達成

6月27日、恐竜博物館特別展「モンゴル ゴビ砂漠の恐竜たち」のオープニングセレモニーが、モンゴル科学アカデミー古生物学センター所長ヒシグジャフツォクトバートル博士など関係者約60人が参加して行われました。28日から始まった特別展には、モンゴルのゴビ砂漠で見つかる最大の肉食恐竜「タルボサウルス」や、10メートルを超える大型の植物食恐竜「サウロロフス」の全身骨格標本、有名な格闘する恐竜の化石レプリカなど45点が展示されています。展示されている45点のうち、タルボサウルスやサウロロフスを含めた40点が本物の化石です。28日には、モンゴル国のオユンゲレル文化・スポーツ・観光大臣が視察のため恐竜博物館に来館し、特別展や常設展示、オープンラボを視察し、山本孝二町長と「長期にわたる学術交流」などについて会談しました。外国の大臣が来町するのは初めてです。

また、29日には恐竜博物館新館オープン後、2カ月で来館者が5万人を突破しました。



1



2



3

- 1_展示されているタルボサウルスの化石
- 2_オープニングセレモニーでのテープカット
- 3_プロトケラトプスの化石
- 4_本物の全身骨格標本が並んだ迫力の展示
- 5_視察するオユンゲレル文化・スポーツ・観光大臣



4



5